

「地域性と同時代性」＝沖縄との出会いと学び、そして未来

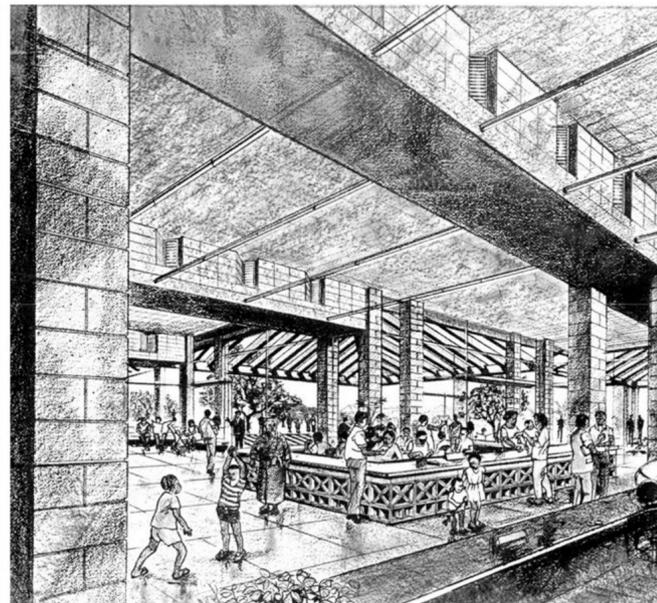
講師 重村 力

日時：2023年3月18日(土) 17:30 開場 18:00 開演～20:00 終了

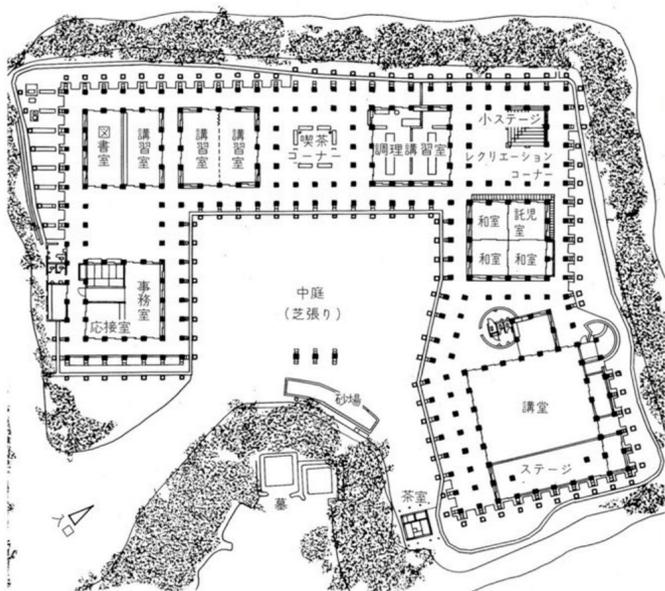
場所：沖縄県立博物館・美術館（おきみゅー）3階講堂



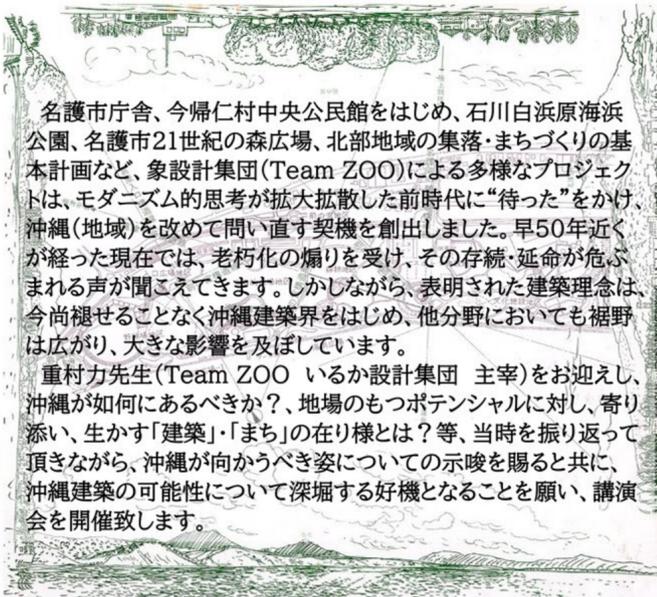
名護市庁舎



今帰仁村中央公民館



石川白浜原海浜公園



名護市庁舎、今帰仁村中央公民館をはじめ、石川白浜原海浜公園、名護市21世紀の森広場、北部地域の集落・まちづくりの基本計画など、象設計集団(Team ZOO)による多様なプロジェクトは、モダニズム的思考が拡大拡散した前時代に“待った”をかけ、沖縄(地域)を改めて問い直す契機を創出しました。早50年近く経った現在では、老朽化の偏りを受け、その存続・延命が危ぶまれる声が聞こえてきます。しかしながら、表明された建築理念は、今尚褪せることなく沖縄建築界をはじめ、他分野においても裾野は広がり、大きな影響を及ぼしています。

重村力先生(Team ZOO いるか設計集団 主宰)をお迎えし、沖縄が如何にあるべきか?、地場のもつポテンシャルに対し、寄り添い、生かす「建築」・「まち」の在り様とは?等、当時を振り返って頂きながら、沖縄が向かうべき姿についての示唆を賜ると共に、沖縄建築の可能性について深掘する好機となることを願い、講演会を開催致します。



重村 力氏 (しげむら つとむ) (Team ZOO いるか設計集団 主宰)

【プロフィール】

1946年横浜生まれ。建築家。神戸大学名誉教授。
Team ZOO いるか設計集団 主宰。1969年早稲田大学卒、吉阪隆正に師事。大学二年から大学院学生、非常勤講師として吉阪隆正研究室在室。
象設計集団取締役を経て、神戸大学/神奈川大学/MITなどで教える。

【主な受賞歴】

1969年学生デザイン賞。1977年「名護市等沖縄北部都市・集落の整備計画」で日本都市計画学会石川賞。1987年吉田五十八賞。
1994年 第6回ARCASIA アジア建築家会議金賞。2012年「コミュニティ研究に立脚した災害復興の方法に関する研究」で日本建築学会賞。

入場無料 来場先着200名 応募申し込み不要

※定員に達し次第、以降お断りさせて頂く場合もございます事、ご了承下さい。

CPD単位 2単位 当日受付に申し入れ、記入下さい

お問い合わせ：公益社団法人 日本建築家協会(JIA)沖縄支部事務局

電話:098-943-8949 ホームページ:<https://www.jia-okinawa.org/> メール:info@jia-okinawa.org

後援 (公社)沖縄県建築士会/(一社)沖縄県建築士事務所協会/(一社)沖縄県設備設計事務所協会

(株)沖縄タイムス社/(株)琉球新報社/(株)沖縄建設新聞/(株)タイムス住宅新聞社/NHK沖縄放送局/琉球放送(株)/沖縄テレビ放送(株)/琉球朝日放送(株)